

奨励賞



設計者

古谷俊一 ■ 東京建築士会、古谷デザイン建築設計事務所

事務所・店舗・厩舎

千葉県千葉市

東京クラシック 森のクラブハウス・馬主クラブ棟

構造・階数	敷地面積	建築面積	延床面積	竣工
森のクラブハウス RC造、地上2階	9,261.33㎡	333.55㎡	352.00㎡	平成28年12月20日
馬主クラブ棟 木造+一部S造、地上1階	16,116.65㎡	466.73㎡	385.90㎡	平成28年10月3日



A

選評

新しく再生されたゴルフクラブに隣接して建てられた付属施設。一つは厩舎であり、もう一つは森林文化にまつわる各種催事や休憩のためのクラブハウスである。当該敷地は、以前のゴルフ場開発のための植林場であった。当時の開発が頓挫した結果、その敷地は約20年間をかけて、約3~4mグリッドでスギやシラカシが点在する特色ある林に育った。

クラブハウスは、その林のリズムに沿って建設されたとも言える。4mグリッド、30cmのコンクリート柱によって計画されたオープンエンドな躯体が印象的である。

一方、L字型平面の厩舎は、端部を湾曲した草屋根の下で、馬がストレスを感じることはないよう、それぞれの独立と開放性がめざされていた。曲率をとった建築詳細の端部など総じて建築に親密な雰囲気を与えようとする努力が払われている。

ゴルフクラブに隣接する森の厩舎とクラブハウスというプログラムはまだ発展途上の段階ではあるが、萌芽的な施設計画と、それにふさわしい親しみあるデザインの間の一貫性があり、奨励賞にふさわしい作品であった。

(中谷礼仁)



B



D



C



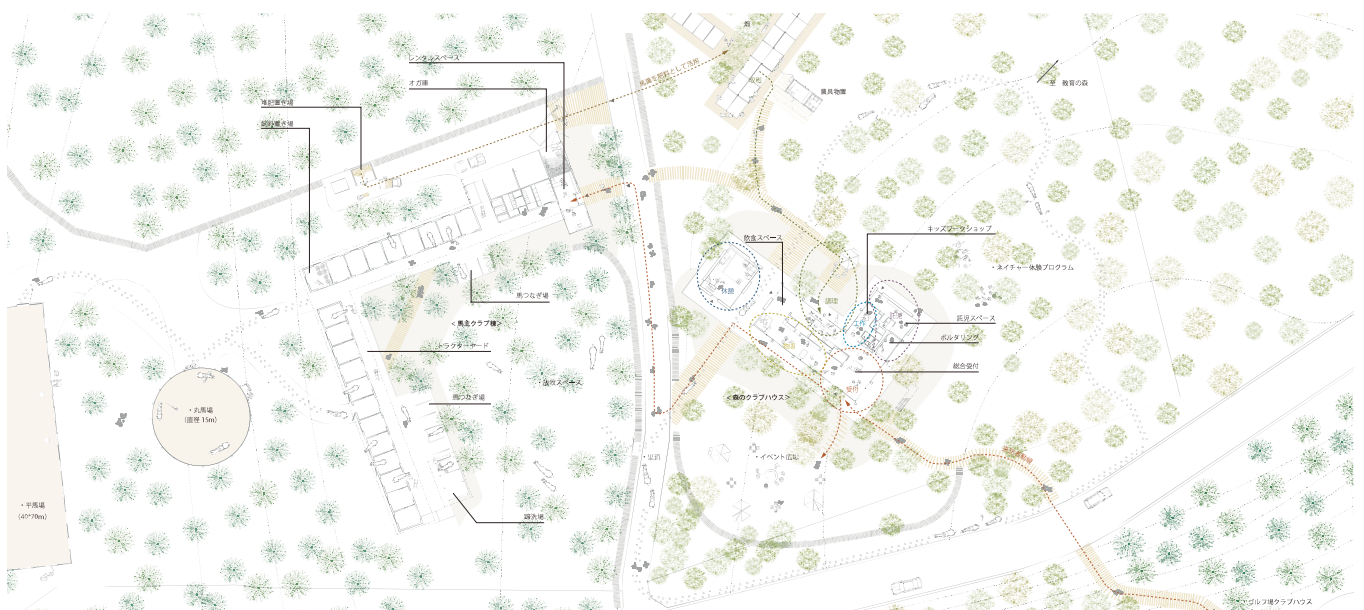
E



F

A 森のクラブハウス外観正面
 B 森のクラブハウス内観
 C 馬主クラブ棟厩舎
 D 森のクラブハウス馬道
 E 馬主クラブ棟馬房
 F 馬主クラブ棟(夜景)

写真…山内紀人



配置図